三沢川地区浸水対策

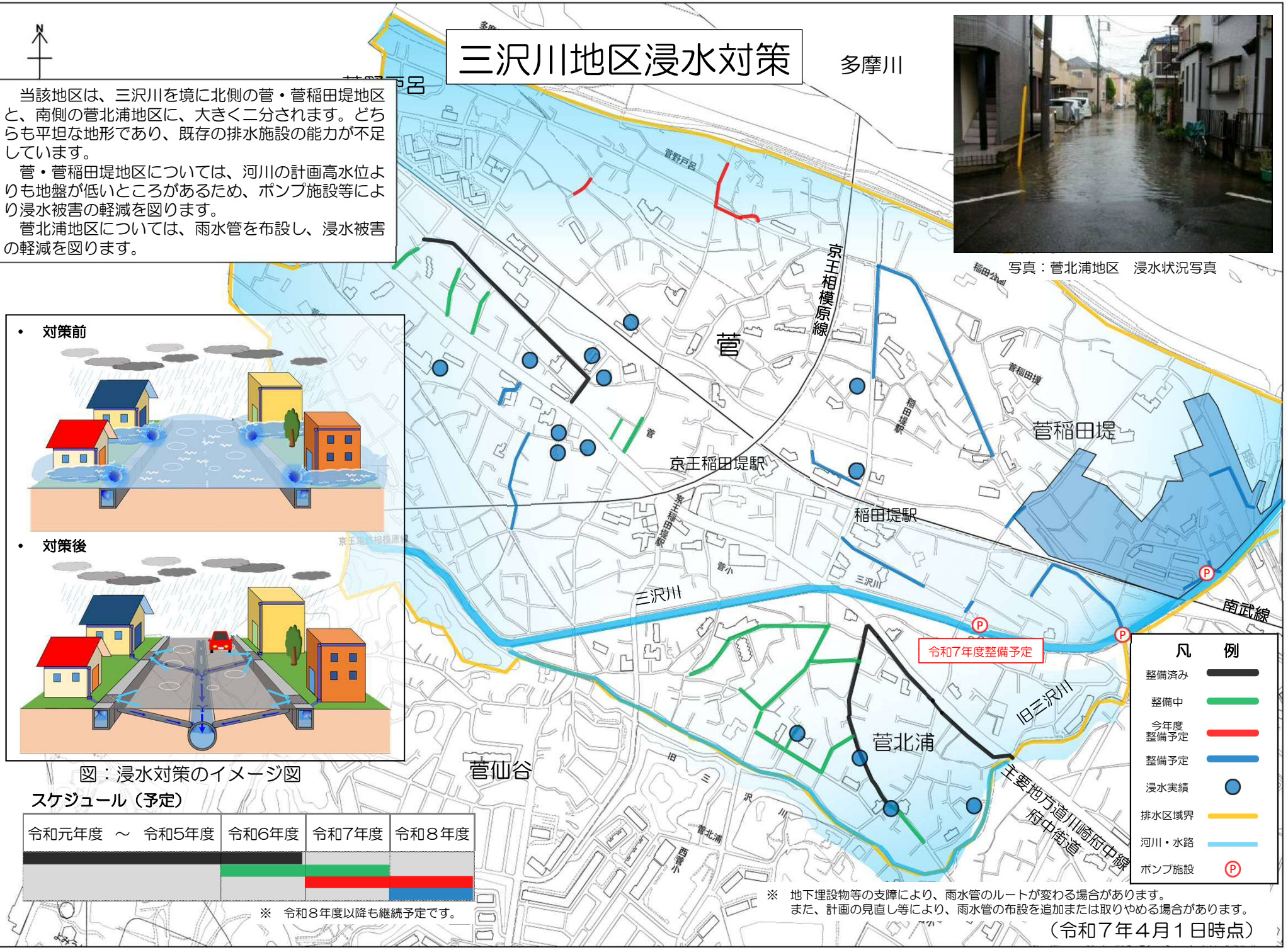
当該地区は、三沢川を境に北側の菅・菅稲田堤地区と、南側の菅北浦地区に、大きく二分されます。どちらも平坦な地形であり、既存の排水施設の能力が不足しています。

菅・菅稲田堤地区については、河川の計画高水位よりも地盤が低いところがあるため、ポンプ施設等により浸水被害の軽減を図ります。

菅北浦地区については、雨水管を布設し、浸水被害の軽減を図ります。

写真：菅北浦地区　浸水状況写真

図：浸水対策のイメージ図



スケジュール（予定）

令和元年度　～　令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和８年度

※　令和８年度以降も継続予定です。

※　地下埋設物等の支障により、雨水管のルートが変わる場合があります。
また、計画の見直し等により、雨水管の布設を追加または取りやめる場合があります。

（令和７年４月１日時点）